

平成28年度 英語が好きになる学校づくり 取組報告書

事務所名	県南教育事務所	学校名	一関市立千厩中学校	TEL	0191-53-2146
------	---------	-----	-----------	-----	--------------

「書くこと」を通して

考えたことを表現することができる授業作り

【ねらい】

本校英語科の課題をもとに以下の通りねらいを設定した。

- ・書くことを通して、考えたことを表現することができる力を育てる。
- ・「英語の勉強が好き」と答える生徒を増やす。（県学調質問紙への肯定的回答50%以上）
- ・向上心をもって検定取得に挑戦しようとする生徒を育てる。（英検3級以上3年生40%以上）

【具体的な取組】

英語科で実施計画を立て、月例の職員会議で提案し、取組を進めた。

実施計画について

- ステップ1：課題把握のための分析（生徒意識アンケート、各種調査分析、生徒の実態把握）
- ステップ2：課題解決のための取組開始（下記に紹介）
- ステップ3：授業公開研究会実施（9月3年 PROGRAM6（授業者：吉田幸恵）、中間報告）
- ステップ4：取組の見直しと実践の継続

※ 課題解決のために、3つの柱（①授業作り、②校内研修及び授業改善の推進、③全校での取組）を設定し取り組んだ。

授業作り1：紹介文やスキット作りを単元のゴールに設定した授業構想



例＜3年 PROGRAM 6＞

- 1 「千厩町の紹介をしよう～紹介文～」を提示する。
※ 総合的な学習との関連を示して意欲付けを図る。
- 2 紹介文のスタイルを確認する。
- 3 個人がネット、インタビュー等で集めた情報を整理し、紹介文を作る。
- 4 発表を行いながら、意見を交流し合う。
- 5 地図を作成し地域に発信する。（構想）
※ 授業と実際の生活を結び付けて意欲付けを図る。

※ 書く力を育てつつ、発表や意見交換を取り入れ、中身のあるコミュニケーション活動を進めた。

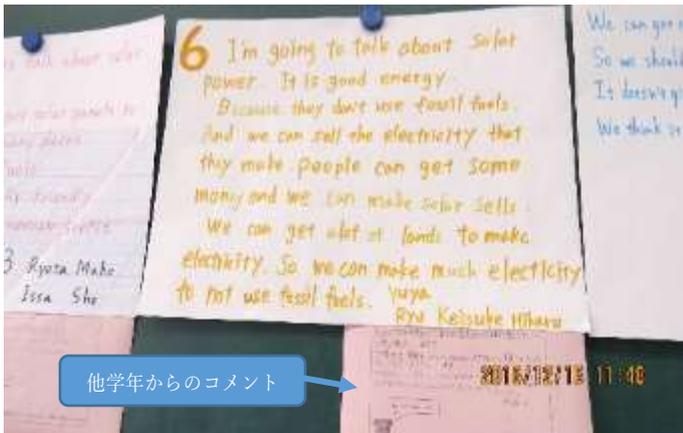
<単元のまとめ・・・個人からグループへ活動を広げ、交流を図る・・・9月27日授業より>



グループでの話し合い



テレビに映しながら説明



他学年からのコメント

- ・協力して意見文を考え紹介する。
- ・他学年に紹介し、コメントをもらう。
- ・コメントされた作品を掲示する。



- ・学校ホームページ（紙媒体）を作成する。
- ・良いと思ったものを生徒自身が選び投票する。
- ・投票の多かったものを廊下に掲示する。

授業作り2：表現ノートを活用

生徒意識アンケートから、「英語は好きだが、表現に自信がない」という回答が多く挙げられたことから、授業で考えたことをさらに深め表現する機会を増やすことが必要であると考え、週末の家庭学習に「表現ノート」への英作文を取り入れた。

「表現ノート」のテーマは、単元のまとめの紹介文につなげられるように設定した。このことによって、生徒たちは、自分が書き溜めたものを参考にしながら、今までよりも、まとまりのある深い内容の英文を書くことができるようになった。

9月	表現ノート		
	3年	2年	1年
1	友達紹介	職場体験（日記）	How many～？の表現
2	将来の夢	千厩町にあるもの There	自己紹介文
3	世界文化遺産について	時間の過ごし方 When	isの使い方
4	千厩の紹介	未来日記 If	Whereの使い方
5	日本文化を紹介しよう	千厩町紹介 You should	代名詞、he, she

単元6 千厩町の紹介

単元5 町にあるもの

友達紹介文

また、意識アンケートから次のことが分かった。

<意識アンケートから> 「英語を書くとき何が大変ですか。」

- 1位：考えたことを英語に直すのが難しい。
- 2位：まとめ方が分からない。ヒント例文がないとわからない。



そこで、表現ノートの活用方法において、以下の手立てにより課題解決を図ることとした。

<表現ノート活用の手立て>

- ・表現ノートは、回収後、教師やALTが添削を行い、必要に応じてリライトさせる。(正確性)
- ・表現した作文に対して、3つの観点(内容、文法、文量)で評価し、点数をつけて返却する。(ルーブリック)
- ・キーワードやヒント例文等を提示し、書くテーマや目的に応じた適切な表現の参考とさせる。

<成果>

- ・文量の点数を高く設定した。多く書くと点数が上がることから、間違いを気にせずにとんどん書くようになった。(流暢性)
- ・表現ノートで書いた英文を使ってグループで構成を考える活動により、流れや内容を大切に文章を書くようになった。

9月2日 日記 3文、16語

9月2日 日記
I got up ^{at} seven o'clock. I'm going to play baseball with my friends. I ^{was} tired.

(内容3点 文法1点 文量3点)で評価

9月19日 自由時間の過ごし方 7文、43語

9月19日 自由時間の過ごし方
There ^{is} a sport shop in Ichinoseki. Many people go there and do some shopping. There are four supermarkets in Senmaya. I often visit them with my family. I sometimes go to Nakagomizya. There are many shops there. So we can buy many things there.

(内容5点 文法5点 文量7点)で評価

10月23日 紅輝祭日記 14文、82語

10月23日 紅輝祭日記
We had our school festival this Sunday. I saw a fun play. I ~~hard~~ drew a picture. I'm glad/practiced singing. I ~~was~~ won the chorus contest ~~and~~ gold prize. I ~~enjoyed~~ the Koki-sai. I think that ^{it was} wonderful "Koki-sai". I ~~saw~~ heard a brassband concert. I ~~thought~~ thought ~~it~~ displayed. I think that ^{it's} hard to write a newspaper. I saw an interesting classroom. I think that ~~the~~ play was hard. I ~~displayed~~ displayed ~~my~~ my picture. I want to enjoy Koki-sai ^{next} year.

(内容5点 文法5点 文量10点)で評価

10月23日 紅輝祭日記 take 2
We had our school festival this Sunday. I saw a fun play. I drew a picture. I practiced singing hard. We won the chorus contest gold prize. I enjoyed the Koki-sai. I think that it was a wonderful "Koki-sai". I saw a brassband concert. I thought ~~it~~ was hard to write the display. I think that it's hard to write a newspaper. I saw an interesting classroom. I think that the play was hard. I displayed my picture. I want to enjoy Koki-sai next year.

校内体制での取組

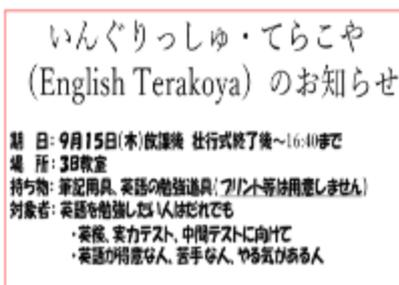
<取組計画表>

月	校内研修	校内取組	授業改善	検定・補充
7	校内研究授業 意識調査	取組の確認	アンケート	
9	中間報告	図書室の活用	英語科部会	
10		生徒作品交流		寺子屋、英検
11				
12	語順テスト		英語科部会	
1	小学校外国語活動参観		英語科部会	寺子屋、英検
2	中学授業提供・意識調査		英語科部会	
3	研究のまとめ		英語科部会	

<校内研修体制の構築>

- ・ 7月の校内研究会で英語の授業を提供した。英語が好きになるとはどういうことか職員全体で考える機会となった。また、学校全体で協力して取り組むことが大切であることの認識を深めた。
- ・ 英語の授業を中心として、学年の枠を越えた活動を進めた。他学年の生徒作品（紹介文）を読みコメントを返す活動や、作品の展示による交流など、授業以外でも英語に触れるようにした。
- ・ 放課後等を用いて、英語検定受験に向けた学習会を実施した。
- ・ 図書支援員の方に依頼し、図書室に英語コーナーを設置してもらった。図書室を利用する生徒にとって、英語の絵本や物語などに触れる大変良い機会となった。
- ・ 新入生対象の小中交流会で授業を参観し合い、互いに意見交流ができるように体制を整えた。
- ・ 今後 ALT の協力を得て、英語の文化紹介や英語クイズ等を実施する予定である。

<英語検定に向けた補充学習>



<図書室の英語コーナー>



【成果】

- ・ 間違いを過度に気にせず、伝えたいことを英語で積極的に表現しようとする生徒が増えた。書く英文の量も増え、伝えたいことを整理して表現する力が育っている。
- ・ 家庭学習で表現ノートに書いてきた英文を用いての言語活動を授業で行った。このことにより、英文作りに 1 時間終始するのではなく、英文の内容や構成について学び合う時間が確保でき、生徒の表現することへの意欲付けにつながった。
- ・ スキットづくりなどで英文を書かせる際、「言語の使用場面」を明確にしたことで、生徒は、意欲的に活動に取り組むことができた。
- ・ 県学調の生徒質問紙調査によると、「英語の勉強は好きですか」への積極肯定が 41%（県比 + 13%）、肯定が 38%（県比 + 6%）、合計 79%（県比 + 19%）となり、目標の肯定的回答 50%以上を大きく上回る結果となった。これは、表現ノートの活用や言語の使用場面の明確化などの授業づくりに取り組んだ成果と考えられる。
- ・ 全職員が、「英語が好きになる学校」という意識をもち、英語学習の充実に向けて協力しながら推進することができた。